

各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2017年 11月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店※1	112.6
阪神本店	100.7
支店計	100.5
全社計	106.9

※1 阪急うめだ本店 111.9%、阪急メンズ大阪 117.5%

既存店計※2	108.8
--------	-------

※2 堺 北花田阪急を除く既存店対比

○ 全店の概況 ※売上高が12ヶ月連続で前年実績を上回る。

- ・ 婦人ファッションが継続的に好調。特に気温の急激な低下に伴い、コートを中心とした重衣料の動きがさらに活発化。服飾雑貨もインバウンドが好調なバッグ・雑貨の動きが目立つ。さらに食料品も気温低下に伴い、鍋商材の動きがいい。
- ・ 支店では、博多阪急が開業後初めての大規模な改装を行い、広域からの集客力も高まり、売上が2ヶ月前増と好調。
- ・ インバウンドは、一般品、消耗品ともに好調継続。特に化粧品や高額なジュエリーや時計が活発な動き(約1.8倍)。

○ 阪急本店の概況 ※売上高が12ヶ月連続で前年実績を上回る。

- ・ 婦人ファッション全体(121%)が好調継続。婦人服(111%)が、中旬以降一気に気温が低下し、コート(122%)などの重衣料(115%)が好調。インバウンド中心にハンドバッグ・雑貨(119%)、化粧品(148%)、高級ブランド品(123%)が好調。食料品(103%)も気温低下の影響で、鍋商材の動きが良く、生鮮(104%)が好調。
- ・ 阪急メンズ大阪もビジネス中心に動き出したコート(114%)や、ニット、ブルゾンが好調。トレンドアイテムのシューズやバッグも人気。
- ・ インバウンドは、化粧品中心の消耗品(約2.4倍)、ジュエリー・時計好調の一般品(約1.7倍)とも好調で、免税売上約1.9倍。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2016年度					2017年度							
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
阪急本店	99.8	103.6	104.1	106.6	103.1	105.4	108.4	108.3	108.0	110.0	114.4	110.1	112.6
阪神本店	94.2	95.9	95.4	97.2	97.6	96.5	101.6	96.2	95.7	99.8	106.1	100.2	100.7
支店計	98.4	99.5	100.3	99.0	99.5	101.6	102.8	104.0	103.4	94.9	97.3	95.3	100.5
全社計	98.6	101.2	101.6	102.5	101.1	102.9	105.4	105.1	104.7	103.1	107.4	103.6	106.9
既存店計										105.4	109.4	105.5	108.8

速報値

■ 食品事業

イズミヤ	売上高前年比(%)
全社計	89.7

阪急オアシス	売上高前年比(%)
全社計	100.0

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問合せ先>
 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 広報室 TEL:06-6367-3181